



平成25年3月15日

各 位

名古屋市中村区名駅四丁目23番9号
株式会社クロップス
代表取締役社長 小林 正 明
(コード番号:9428 東証・名証第二部)
問合せ先: 取締役管理部門担当
飯 田 長
(TEL 052-588-5640)

東京証券取引所市場第二部上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成25年3月15日に東京証券取引所市場第二部へ上場いたしました。今後ともなお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。添付資料は、平成25年2月1日に公表いたしました「平成25年3月期第3四半期決算短信」であります。

【連結】

(単位：百万円、%)

	平成25年3月期 (予 想)			平成25年3月期 第3四半期累計期間 (実 績)		平成24年3月期 (実 績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売 上 高	23,119	100.0	5.4	17,613	100.0	21,936	100.0
営 業 利 益	706	3.1	△5.7	510	2.9	749	3.4
経 常 利 益	697	3.0	△8.2	506	2.9	759	3.5
当期(四半期)純利益	334	1.4	1.2	247	1.4	330	1.5
1株当たり 当期(四半期)純利益	34.82円			25.80円		31.89円	
1株当たり 配 当 金	1円50銭			—		1円50銭	

(注) 1. 平成25年3月期(予想)の業績予想に係る数値は、平成24年10月31日に公表いたしました「第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」における修正後の数値となっております。

2. 平成24年3月期(実績)及び平成25年3月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出し、平成25年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は、予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名 株式会社クロップス 上場取引所 名
コード番号 9428 URL http://www.crops.ne.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 正明
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部門担当 (氏名)飯田 長 (TEL)052(588)5640
四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	17,613	10.7	510	△19.2	506	△21.0	247	△2.9
24年3月期第3四半期	15,914	34.1	632	△2.7	640	0.1	255	△13.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 266百万円(△4.9%) 24年3月期第3四半期 280百万円(△16.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第3四半期	円 銭 25.80	円 銭 —
24年3月期第3四半期	円 銭 24.06	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第3四半期	百万円 11,420	百万円 3,422	% 28.3
24年3月期	百万円 10,876	百万円 3,183	% 27.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,227百万円 24年3月期 3,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 1.50	円 銭 1.50
25年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —		
25年3月期(予想)				円 銭 1.50	円 銭 1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,119	5.4	706	△5.7	697	△8.2	334	1.2	34.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1 社 (社名) 克龍風速上海商貿有限公司、除外 1 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 5 ページ「サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期3Q	9,597,400株	24年3月期	10,838,000株
25年3月期3Q	403株	24年3月期	1,220,958株
25年3月期3Q	9,606,530株	24年3月期3Q	10,606,938株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 4 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの着実な復興が進み、生産活動の急速な回復や個人消費の堅調さなど、一部に緩やかな景気回復の兆しがみられ、また、政権交代に伴う金融緩和期待等を背景に円安が進行し、デフレ脱却・経済成長への期待が高まっているものの、欧州の長期的な経済停滞、中国をはじめとする新興国経済の減速など、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、移動体通信事業におきましては、移動体通信事業者各社における低廉な料金サービスの提供、スマートフォンやタブレット端末等のデバイスの多様化、音楽・映像・電子書籍等のコンテンツサービスの広がり等により顧客獲得に向けた競争はますます激しくなっております。

人材派遣事業につきましては、雇用関連の各指標に持ち直しの傾向が見られた一方で、顧客企業を取り巻く経営環境の先行き不透明感や専門26業務派遣適正化プラン等の影響から企業の派遣需要が抑制され、依然として厳しい市場環境が続いております。

ビルメンテナンス事業につきましては、顧客企業のコスト削減意識が依然として強く、値下げ要請による単価の下落や同業他社との価格競争の激化が続いております。

飲食店舗居抜き流通事業につきましては、首都圏への出店希望需要は強く、出店費用を抑制できる居抜き出店、店舗貸借時に信用を補完できるサブリースとも好調に推移しております。

文具事務用品卸事業につきましては、雇用環境の悪化や所得環境の停滞が続いたことによる消費者の節約志向の定着により、リーズナブルな商品の需要が堅調に推移しております。

海外事業につきましては、平成24年12月末の携帯電話契約件数(中国)が前年同期比1億2,590万件増加の11億1,215万件となっており、市場規模の拡大が続いております。

このような市場環境にあって当社グループは既存顧客の確保と新規顧客の開拓に注力した営業活動を展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高17,613,321千円(前年同期比10.7%増)となりました。損益面におきましては営業利益510,578千円(前年同期比19.2%減)、経常利益506,120千円(前年同期比21.0%減)、四半期純利益247,934千円(前年同期比2.9%減)となりました。

事業区分別の概況は、次の通りであります。

①移動体通信事業

移動体通信事業におきましては、人気機種が発売、スマートフォンの本格的な普及と商機を生かした販売促進施策の強化により、スマートフォン、タブレット端末等の販売が好調に推移し、新規販売台数が増加いたしました。損益面においては、販売促進施策の強化による販売促進費の増加及び販売機会のさらなる獲得に向けた店舗(auショップ42店舗)の営業時間延長による人件費の増加等により、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

なお、総合的な営業力強化のため、1店舗の新規店舗オープン(平成24年8月に「auショップ豊橋佐藤(愛知県豊橋市)」)、1店舗の移転リニューアル(平成24年7月に「auショップ本地ヶ原(愛知県尾張旭市)」)及び2店舗のリニューアル(平成24年6月「auショップ豊田高橋(愛知県豊田市)」、平成24年9月「auショップ勝川(愛知県春日井市)」)を実施しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、9,530,019千円(前年同期比14.8%増)、営業利益は285,244千円(前年同期比20.7%減)となりました。

②人材派遣事業

人材派遣事業におきましては、エコカー補助金制度による自動車需要の回復等により、製造業向けの特定派遣が堅調に推移したものの、業務請負については、F T T H等光回線販売が低調となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,561,627千円（前年同期比1.8%減）、営業利益は42,467千円（前年同期比38.9%減）となりました。

③ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業におきましては、取引先からの値引き要請は強いものの、既存顧客の深耕及び大手取引先との良好な取引実績を生かした新規顧客の開拓を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,593,886千円（前年同期比4.8%増）、営業利益は103,017千円（前年同期比17.2%増）となりました。

④飲食店舗居抜き流通事業

飲食店舗居抜き流通事業におきましては、震災等の影響により減退していた新規出店意欲が回復しており、出店希望の見込める優良物件の獲得に注力したことにより、飲食店舗の開店・閉店支援サービスの契約件数、サブリースの管理物件数とも、好調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,329,420千円（前年同期比23.2%増）、営業利益は33,037千円（前年同期比497.3%増）となりました。

⑤文具事務用品卸事業

文具事務用品卸事業におきましては、ファイル等の定番商品に加え、タイムリーな新商品を企画・販売することにより、大手取引先への販売が堅調に推移いたしました。一方で、仕入原価の高い商品の販売比率が高まったため、売上総利益が前年同期比で減少しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,765,748千円（前年同期比5.9%増）、営業利益は114,664千円（前年同期比26.1%減）となりました。

⑥海外事業

海外事業におきましては、中国電信股份有限公司上海分公司との業務提携協議に基づき、平成24年9月28日より、中国上海市においてチャイナテレコムショップの営業を開始しております。

当第3四半期連結累計期間は販売費及び一般管理費のみの計上で、営業損失は22,455千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、6,196,483千円となりました。これは、主として商品の増加（324,548千円）等があったものの、受取手形及び売掛金の減少（347,826千円）、現金及び預金の減少（29,241千円）等があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12.3%増加し、5,223,698千円となりました。これは、主としてのれんの減少（51,248千円）等があったものの、土地の増加（303,425千円）、差入保証金の増加（257,131千円）等があったことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて5.0%増加し、11,420,182千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、5,244,080千円となりました。これは、主として短期借入金の増加(100,000千円)等があったものの、支払手形及び買掛金の減少(135,363千円)、未払金の減少(60,244千円)等があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて17.1%増加し、2,753,571千円となりました。これは、主として退職給付引当金の減少(1,065千円)等があったものの、長期預り保証金の増加(218,148千円)、長期借入金の増加(162,450千円)等があったことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、7,997,651千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7.5%増加し、3,422,530千円となりました。これは、主として利益剰余金の減少(178,130千円)等があったものの、自己株式の減少(404,001千円)等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月31日に発表いたしました「第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の通りであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において新たに子会社を設立したことにより、克龍風速上海商貿有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結累計期間における税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算出しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法等の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,938,747	1,909,506
受取手形及び売掛金	2,581,071	2,233,245
商品	1,292,452	1,617,000
貯蔵品	2,414	2,251
繰延税金資産	149,643	149,643
その他	269,418	286,410
貸倒引当金	△8,267	△1,573
流動資産合計	6,225,480	6,196,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	942,548	965,656
土地	1,461,519	1,764,945
貸与資産(純額)	8,756	1,783
その他(純額)	92,633	67,034
有形固定資産合計	2,505,458	2,799,419
無形固定資産		
のれん	240,575	189,327
その他	50,332	43,412
無形固定資産合計	290,908	232,739
投資その他の資産		
投資有価証券	434,594	430,723
差入保証金	1,099,216	1,356,347
繰延税金資産	154,455	154,652
その他	171,699	250,432
貸倒引当金	△5,118	△616
投資その他の資産合計	1,854,847	2,191,539
固定資産合計	4,651,214	5,223,698
資産合計	10,876,694	11,420,182

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,507,392	1,372,029
短期借入金	1,950,000	2,050,000
1年内返済予定の長期借入金	579,499	531,449
未払金	637,668	577,423
未払法人税等	95,850	105,462
賞与引当金	193,493	137,493
その他	377,510	470,222
流動負債合計	5,341,415	5,244,080
固定負債		
長期借入金	1,061,150	1,223,600
退職給付引当金	167,628	166,563
役員退職慰労引当金	7,825	8,590
長期預り保証金	832,797	1,050,946
資産除去債務	92,123	92,057
繰延税金負債	4,637	9,548
その他	186,104	202,265
固定負債合計	2,352,267	2,753,571
負債合計	7,693,682	7,997,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,157	255,157
資本剰余金	315,278	315,278
利益剰余金	2,702,173	2,524,043
自己株式	△404,136	△134
株主資本合計	2,868,472	3,094,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,639	137,787
為替換算調整勘定	—	△4,138
その他の包括利益累計額合計	132,639	133,649
新株予約権	2,482	—
少数株主持分	179,416	194,536
純資産合計	3,183,011	3,422,530
負債純資産合計	10,876,694	11,420,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	15,914,180	17,613,321
売上原価	12,258,073	13,701,518
売上総利益	3,656,106	3,911,803
販売費及び一般管理費	3,023,926	3,401,225
営業利益	632,180	510,578
営業外収益		
受取利息	669	660
受取配当金	4,638	5,823
投資有価証券売却益	—	1,260
違約金収入	400	4,450
固定資産売却益	1,762	635
貸倒引当金戻入額	18,208	643
その他	10,694	9,450
営業外収益合計	36,374	22,924
営業外費用		
支払利息	19,742	22,187
固定資産売却損	3,595	120
固定資産除却損	742	—
その他	3,880	5,073
営業外費用合計	27,960	27,382
経常利益	640,594	506,120
特別利益		
固定資産売却益	1,466	285
新株予約権戻入益	—	2,482
特別利益合計	1,466	2,768
特別損失		
減損損失	9,258	—
固定資産除却損	7,085	2,665
賃貸借契約解約損	—	2,380
特別損失合計	16,344	5,046
税金等調整前四半期純利益	625,717	503,842
法人税等	338,022	238,282
少数株主損益調整前四半期純利益	287,694	265,559
少数株主利益	32,391	17,625
四半期純利益	255,302	247,934

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	287,694	265,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,318	5,080
為替換算調整勘定	—	△4,138
その他の包括利益合計	△7,318	941
四半期包括利益	280,375	266,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,976	248,943
少数株主に係る四半期包括利益	32,399	17,557

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメン テナンス 事業	飲食店舗 居抜き 流通事業	文具事務 用品卸事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	8,299,368	1,451,346	2,472,617	1,079,133	2,611,713	15,914,180
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	138,736	1,864	—	—	140,600
計	8,299,368	1,590,082	2,474,481	1,079,133	2,611,713	16,054,780
セグメント利益又は 損失(△)	359,678	69,506	87,908	5,531	155,192	677,816

	その他 (注)	合計
売上高		
外部顧客への売上高	—	15,914,180
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	140,600
計	—	16,054,780
セグメント利益又は 損失(△)	△237	677,579

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社クロップス・メディアコムに関するものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	677,816
「その他」の区分の損失(△)	△237
セグメント間取引消去	5,850
のれん償却額	△51,248
四半期連結損益計算書の営業利益	632,180

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメン テナンス 事業	飲食店舗 居抜き 流通事業
売上高				
外部顧客への売上高	9,530,019	1,395,783	2,592,432	1,329,420
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	165,843	1,454	—
計	9,530,019	1,561,627	2,593,886	1,329,420
セグメント利益又は 損失(△)	285,244	42,467	103,017	33,037

	報告セグメント		合計
	文具事務 用品卸事業	海外事業 (注)	
売上高			
外部顧客への売上高	2,765,666	—	17,613,321
セグメント間の内部 売上高又は振替高	82	—	167,380
計	2,765,748	—	17,780,702
セグメント利益又は 損失(△)	114,664	△22,455	555,976

(注) 中華人民共和国で携帯電話の販売等を営む克龍風速上海商貿有限公司を設立し、連結子会社化したことに伴い、第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分に「海外事業」を新設いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	555,976
セグメント間取引消去	5,850
のれん償却額	△51,248
四半期連結損益計算書の営業利益	510,578

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年8月3日開催の取締役会決議により、会社法第178条の規定に基づき、平成24年8月10日付で自己株式1,240,600株を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式が411,638千円減少しております。